



日本は主権国家と言えるのでしょうか？



深浦町役場近くの民家脇約20メートルに米軍が上空から投げ捨てた燃料タンクが。全長4.5メートル重さ210キロ。大変な事故になりかねません。タンクは米軍が持ち去り事故を起こした機体に日本側は触れることもできない。

日米地位協定の元で、こういうことが戦後ずっと繰り返されています。沖縄では殺人、ひき逃げなどの犯罪も多発。隣国との関係では主権を振りかざしつつ、アメリカには何も言えず特権を与え続けている日本政府。訓練空域・水域も含めて治外法権状態です。オミクロン株の急拡大に外国人の入国を規制していますが、米軍基地への出入国は野放しです。日本の主権はどこにあるのでしょうか。

軍事予算は過去最大の7738億円が補正に計上されています。軍需産業にはコロナの影響を加味して前払いだそうです。完成見通しのない辺野古新基地建設にも予算を付けます。

憲法を変えようという勢力は、日本を戦争のする国につくりかえようとしています。



さんり
に
イルミ
ネーションが。

りんとした寒さの中ホットとする明かりです。



ひかりのオブジェ展が今年も駅前が始まりました(11/21)

続く地震 浜岡原発基準津波の高さも変更へ

山梨や和歌山で続いた地震は南海トラフや富士山の火山活動とは関係がない、との発表ですが、そうはいつても避けられないのが地震です。地震の間隔が空いてエネルギーがたまることはあっても消えて無くなる事はありません。

浜岡原発は膨大なお金をかけて安全対策を行ない安全審査を通そうとしています。想定される津波の高さが上がる度にかさ上げをしてきたのが防潮堤。

今回22.5と50の想定が上がっています。こんなたちごっこをしても震源域の真上にある立地は変わりません。

今年も全市一斉の防災訓練は見送りになりました。地震・豪雨災害・原子力災害。避難計画も違います。「もしも」をいろいろ想定して自分の行動を確認することは本当に大事だと思います。行政が率先して市民全体に情報と話し合いの場を提供してほしいと思います。

平和学習会(母親大会連絡会主催)12・8不戦の集いに

磐田市在住の被爆2世の磯部典子さんからお話を聴きました。

お父さんは22歳の時に広島で爆心から1.2キロで被爆。

「なんでこんなに次々と病気になるんだ」と叫びながら、県の被爆者運動をひっぱってきました。

典子さんも亡くなったお父さんから託された被爆者のたすきを外すことなく証言をし、運動を続けています。

近隣市は広島への子どもたちの派遣がコロナ禍でできなかった代わり証言を聞く会、映画会、パネル展示など市が代替となる企画も行なっています。

私も掛川市にいろいろ要望していますが、市は何もしません。本気で平和を考える、核兵器の禁止を訴える行動をしてもらいたいです。

